

## 第28回 ヨウ素学会シンポジウム

- ◆ 日時 : 2025年8月29日(金) 9:00~17:20
- ◆ 場所 : 千葉大学 西千葉キャンパス けやき会館
- ◆ 主催 : ヨウ素学会
- ◆ 共催 : 千葉大学、(公社)日本化学会、日本ヨウ素工業会
- ◆ 協賛 : (公社)日本薬学会、(公社)有機合成化学協会、  
(公財)千葉県産業振興センター、(一社)千葉県製薬協会、千葉工業大学  
千葉大学ソフト分子活性化研究センター

### < I部~IV部 : 講演 >

No.	予定時間	分類	講演テーマ	研究発表者	所属団体
	9:00~9:05	挨拶	荒井孝義 会長		
I部 : 座長 (石原一彰)					
①	9:05~9:40	招待講演	Biocompatible Photochemistry: Hypervalent Iodine and Beyond	Yiyun Chen	Chinese Academy of Sciences
II部 : 座長 (松本祥治)					
②	9:40~9:55	一般講演	オージェ電子治療を志向した $\alpha, \beta_3$ インテグリン標的 I-125 標識核移行性プローブの開発	○宗兼将之・越後拓亮・三代憲司・淵上剛志・小川数馬	金沢大院薬
③	9:55~10:10	一般講演	超高屈折率 ( $n > 1.80$ ) を志向した UV 硬化性含ヨウ素ポリアクリレート合成と性質	○中島佑也・工藤宏人	関西大院理工
④	10:10~10:25	一般講演	0次元型ペロブスカイトヨウ化物シンチレータ材料開発とその中性子検出応用	○藤原千隼・黒澤俊介・山路晃広	東北大工・東北大金研・東北大 NiCHE・阪大レーザー研・京大複合研
⑤	10:25~10:40	一般講演	FITECT™ (CF3I) を用いた Mg カバーガス技術開発	○竹田有輝・長崎順隆・宮崎高則・足立浩明・村上弘英・新庄日向	東ソー・ファインケム(株)
(休憩 : 10分)					
III部 : 座長 (浅倉 聡)					
⑥	10:50~11:25	招待講演	積水化学工業の実用化に向けたペロブスカイト太陽電池の開発	別所毅隆	積水化学工業(株)
IV部 : ポスター発表 ショートスピーチ					
	11:30~12:25	21件×2分:55分(交代時間含)			

### < V部 : ポスター発表、企業展示 > けやき会館レセプションホールにて

*時 間 ; 展示 12:00~14:50 . . . . . 発表と質疑 (13:20~14:50)		
ポスター発表	発表件数33件	物理化学、有機化学、触媒化学、生物活性、利用、応用、実用品の開発と製品紹介 など
企業展示		ヨウ素製品等の展示、ヨウ素分析機器等の展示 (時間 ; 随時)

### < VI部~VIII部 : 講演 >

	14:55~15:00	学会賞授与式 (受賞者 : 矢島知子)			
VI部 : 座長 (齊藤亜紀夫)					
⑦	15:00~15:40	受賞講演	ヨウ化フルオロアルキルを駆使した光ラジカル反応の開発	矢島知子	お茶女大理
VII部 : 座長 (中島誠也)					
⑧	15:40~15:55	一般講演	スルフィリイミン置換アミノ- $\lambda^3$ -ヨウダンの合成と求電子的アミノ化への利用	○成田修佑・清川謙介・南方聖司	阪大院工
⑨	15:55~16:10	一般講演	ニトロアルカンの活性化を鍵とするキラルハロニウム塩触媒反応の開発	○谷山亮輔・青野真穂・三野 孝・吉田泰志	千葉大院工・千葉大 IAAR
⑩	16:10~16:25	一般講演	IBS 触媒を用いるアルコールの室温選択的酸化および酸化的エステル化反応	○ウヤヌク ムハメット・近藤竜太郎・石原一彰	名大院工
VIII部 : 座長 (海宝龍夫)					
⑪	16:25~17:00	招待講演	Development of Iodanyl Radical Catalysis	David C. Powers	Texas A&M University

※各講演時間は、質疑応答の時間5分を含みます。

17:05~17:20	ポスター賞発表
17:40~19:10	懇親会 (千葉大学生協フードコート2)

# ポスター発表プログラム

○発表 13:20~14:50 (ショートスピーチ 11:30~12:25)

番号前に「S」がある発表はショートスピーチ予定

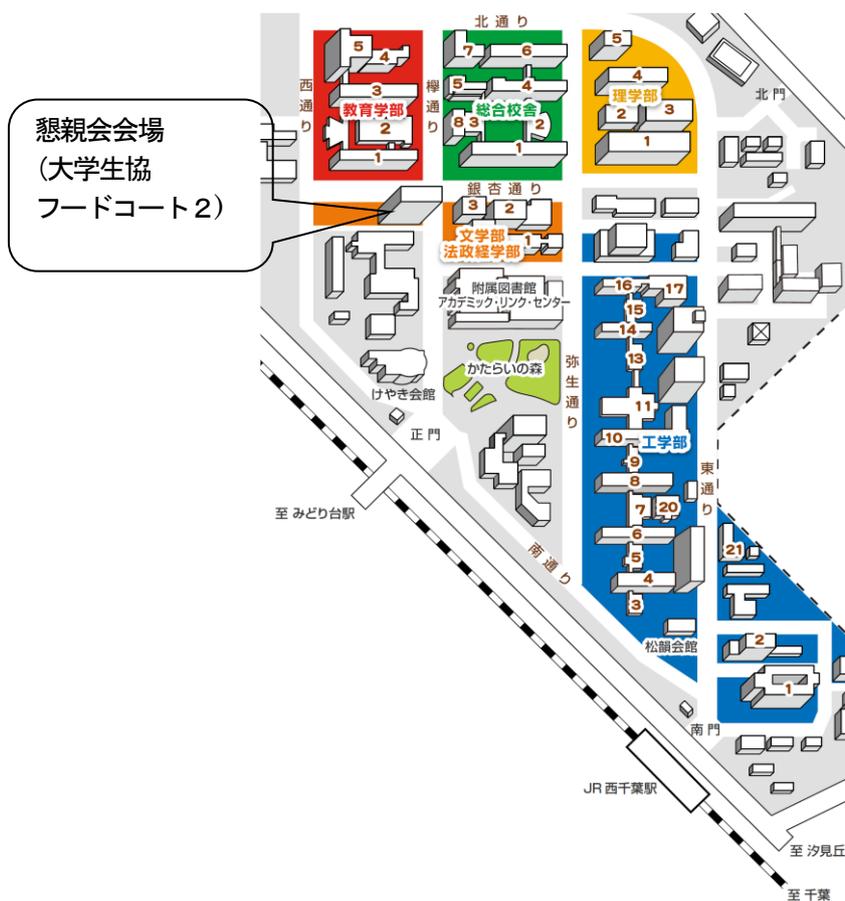
No.	発表タイトル	○発表者・研究者	所属団体
01	エチニル超原子価ヨウ素化合物を用いる環状アミノトリアゾマ ー合成法の開発	○多田教浩・村木千優・魚住龍成・友野僚 祐・伊藤彰近	岐阜薬大)
02	超原子価ヨウ素試薬を用いたfarglitazar誘導体の合成と構造 生物学的評価	○石田寛明・岩本遊磨・本間翔也・伊藤俊 将	昭和薬大)
S03	ヒガンバナアルカロイド類の不斉合成を志向したキラルヨウ 素III)触媒を用いるエナンチオ選択的酸化的脱芳香族型ピアリ ールカップリング反応	○三鍋駿介・ウヤヌク ムハメット・石原 一彰	名大院工)
S04	TMP-ヨードニウムアセタートによるスルフェニアミド類の添 加剤フリーS-アリアル化反応	○BAE Taehol・Elboray E. Elghareeb1・ 菊 峯 孝 太 郎 ・ 北 泰 行 ・ 土 肥 寿 文	立命館大院薬・ 立命館大総)
S05	ベンゾヨードリウム塩の新規合成法の開発とLewis酸としての応 用	○野口航平・平井春陽・坪内彰・齊藤亜紀 夫	東農工大院工)
06	銀触媒を用いた不活性C(sp <sup>3</sup> )-Hのアミノ化反応の開発	○藤井大成・神田治樹・原田慎吾・根本哲 宏	千葉大院薬)
S07	NBSを利用したArylbenziodoxaborole の臭素化反応	○銭谷あかり・Viktor V. Zhbankin・齊藤 亜紀夫・吉村 祥	青森大薬・UMD・東農工 大院工)
08	自己連鎖型アラインカルボメタル化が駆動する環状ジアリ ールヨードニウム塩の開環アリアル化	○吉戒直彦・池下大智	東北大院薬)
09	脂肪族カルボン酸を求核剤とした単純アルケンの分子間触媒 的不斉ヨードエステル化反応	○岡田龍之介・荒井孝義	千葉大院理)
S10	炭素-窒素軸不斉ヨードアニリン触媒を用いたアルキルアミ ノケトンのエナンチオ選択的分子内αアミノ化反応	○丸島隆誠・森山克彦	千葉大院理)
11	キラルハロニウム塩触媒を用いた不斉非対称化反応の開発	○松本梨花・三野 孝・吉田泰志	千葉大院工・千葉 大 IAAR)
S12	ハロゲン結合を利用したアミドのチオアミドへの変換反応の開 発	○小林祐輔・池田芽以・中村明歩・辻川 桜・浜田翔平・古田 巧	京都薬大・金沢 大医薬保)
S13	分子内水素結合によるカチオン性ハロゲン結合供与型触媒の高活 性化	○山岡桃子・石川莉羽・早川峻輔・原口亮 介	千葉工大院工)
S14	ハロゲン結合を利用した電気化学的C-N結合形成反応に関する 理論的研 須田佳代・平間暁月・吉永昌平・跡部真人・信田尚毅・ 横川大輔	東京大院総文・横国大院工)	
S15	ヨウ化ペルフルオロアルキルを用いた可視光触媒による含フッ 素アミド化合物の合成法開発	○山口愛織・矢島知子	お茶女大院理)
16	Pd触媒・I <sub>2</sub> によるリン-元素結合の活性化に基づく非対称トリア リアルホスフィン誘導体のOne-pot合成	○辻 実来・可児玲大・山本結生	山梨大院総研)
17	安定なジホスフィンとI <sub>2</sub> を用いた末端アルキンへのリン官能 基のOne-pot/触媒的導入	○飯野滉太・山本結生	山梨大院総研)
S18	ヨウ素を活用したシリルエーテルからニトリルへのワンポット 反応	○浜田翔平・久保園涼香・阪本圭織・矢野恭 子・田中薫夏・小林祐輔・古田 巧	金沢大院薬・京都薬大)
S19	N,N-ジアリアルアニリンとヨウ素によるキノリニウム塩生成反 応	○小堀一輝・赤染元浩・松本祥治	千葉大院工)
S20	3-フェニルオキサジアゾール-3-イウム-5-オラートのヨウ 素導入によるハロゲン結合形成	○佐々木笙・赤染元浩・松本祥治	千葉大院工)
S21	ハロゲン結合を有するジスチルベンゼン誘導体：高発光性極 性結晶の創出	○中野翔太・大垣拓也・山浦太佑・松井康 哲・池田 浩	阪公大院工・阪公大 RIMED)
S22	ヨウ素-ヨウ素相互作用を鍵とする二置換型非対称有機半導体 材料の分子配向制御	○蓮見 翔・松永 周・羽佐田麻 衣・宮田顕光・片桐洋史	山形大院有機・山形大 理工)
23	ハロゲン化安息香酸を側鎖にエステル結合したポリグリセロ ールアジペート(PGA)：ハロゲン結合と物性評価	○新実寛己・大山裕也・堀田 篤	慶応大理工)
S24	高次構造としてのヨウ素の配列 - 自己組織化・電荷共有・不均 一 vdW-○川口昭夫	京大複合研)	

No.	発表タイトル	○発表者・研究者	所属団体
S25	Tuning Material Properties via Iodine-Based Halogen Bonds in Coordination Frameworks	○Giancarlo Terraneo	Politecnico di Milano)
S26	ドナー数に基づいた赤色発光ペロブスカイト量子ドットの室温合成条件の確立	○和田小湖音・吉田謙伸・浅倉 聡・増原陽人	山形大院理工・伊勢化学・山形大院有機シス)
S27	ハロゲン組成制御と量子サイズ効果を活用した高発光効率ペロブスカイト量子ドット	○平島 駿・大下直晃・浅倉 聡・増原陽人	山形大院理工・伊勢化学・山形大院有機シス)
S28	ヨード-ピリジル相互作用を駆使した発光性分子配向制御と異方性光導波特性	○中林真宏・松尾 匠・林正太郎	高知工大理工・高知工大理工・高知工大総研)
29	PVA-GTA-Iラジオクロミックゲル線量計の線量応答における高原子番号元素の効果	○林慎一郎・駒口健治・若林源一郎	広国大保医・広大院先理・近代原研)
S30	PbTeの熱電性能に及ぼすNaI, CsI 添加の効果	○根本享翼・五十嵐香	千葉工大工)
S31	ヨウ素を用いた鉄スクラップからの脱錫	○青山涼平・立岩遼大・太田敦喜・永井崇	千葉工大院工・千葉工大工)
32	ヨウ素の多電子反応によるフロー電池性能の調査	○周 嘯宇・谷 和樹・花房 慶・董雍容・森内清晃	住友電工)
S33	Fe-I触媒によるNiメッキ廃液中の次亜リン酸・亜リン酸の空気酸化法	○萩原健登・山下颯斗・淵上祐太	静北高)

## 企業など展示

出展企業	タイトル
K&O ヨウ素株式会社	ヨウ素の製造、かん水中ヨウ素自動測定装置
株式会社合同資源	ヨウ素化合物事業紹介、及び製品紹介
日宝化学株式会社	ヨウ素系・シアン系製品のご紹介
株式会社テクノプロ テクノプロ R&D 社	化学・バイオ分野に特化した研究開発支援
公益財団法人日本化学会	

## 会場案内



### 千葉大学西千葉キャンパス りやききんぎやう

・JR総武線各駅停車 西千葉駅  
(西千葉駅には特急、快速電車は停車しませんのでご注意ください)

・京成電鉄 みどり台駅  
それぞれ徒歩10分

<参考>

○東京駅より約1時間  
総武快速線(稲毛駅乗換)総武線各駅停車(西千葉駅下車)

○羽田空港より約90分  
京浜急行(品川駅乗換)横須賀・総武快速線(稲毛駅乗換)総武線各駅停車(西千葉駅下車)

○羽田空港より約100分  
リムジンバス幕張・千葉方面(千葉駅下車)総武線各駅停車(西千葉駅下車)

※駐車場はございませんので、車での来場はご遠慮下さい。